

# 平成10年度 和歌山県文化奨励賞

## みや した なお こ 宮 下 直 子

住 所：和歌山県和歌山市

出 身 地：大阪府枚方市

生 年：昭和35年

### ◎業績及び経歴

氏は、昭和35年に大阪府枚方市に生まれ、その後、和歌山市で育った。

幼少の頃より、その音楽に対する非凡な才能を表し、昭和46年第25回全日本学生音楽コンクール西日本大会ピアノ部門小学校の部で優勝したのを始め、昭和51年には、第30回同コンクール高等学校の部にて2位に入賞するなど、全国にその名を轟かせた。

その後も研鑽を怠らず、県立桐蔭高等学校より東京芸術大学音楽学部ピアノ専攻に進学し、その技術を磨き続けた。

同大学在学中に「安宅賞」を受賞し、マルティン・メルツァー客員教授が指揮する同大学オーケストラのソリストに選ばれ、絶賛を浴びる。

大学卒業後渡欧し、ロンドンにてマリア・クルチョ女史に師事し、その技術を磨くとともに、欧州各地で開催されるコンサートやコンクール等へ積極的に出演し、高い評価を得た。

留学中の昭和60年、浩宮殿下御臨席の英国オックスフォード大学ジャパニーズ・ソサエティ企画によるコンサートに招かれ、その繊細な指使いと大胆な演奏により観客の心をとらえ、賞賛をもって迎えられた。

昭和62年には、英国メニューヒン国際ヴァイオリンコンクールにて、伊藤亮太郎氏の伴奏者として参加、第4位入賞を果たし、その後一時帰国し、大阪市のザ・シンフォニーホールで大阪フィルハーモニー交響楽団推薦コンサートに出演するなど、その活躍の舞台を大きく広げた。

昭和63年、5年間の留学を終え帰国した後は、和歌山市民会館でのソロリサイタルを皮切りに、全国各地において精力的にコンサート活動に取り組み、我が国においても多くの観衆を魅了するとともに、相愛大学音楽部などにおいて後進の指導にも多大な努力を続けている。

氏は、本県のみならず我が国を代表するピアニストとして、精力的に音楽活動を続け、優れた文化の創造と普及に取り組むなど、本県文化の振興に対する功績は多大である。

### ■現在

相愛大学音楽部講師

和歌山県音楽コンクール審査員

### ■主な表彰歴等

昭和46年 第25回全日本音楽コンクール  
西日本大会小学校の部1位

昭和51年 第25回全日本音楽コンクール  
西日本大会高等学校の部2位

昭和57年 安宅賞